

社会資本総合整備計画(市街地整備)

しゃかいしほんせいびけいかく だい かいへんこう
社会資本整備計画(第2回変更)

加茂川流域における浸水被害の軽減に向けた安全・安心なまちづくり

ぎふけんみのかもし
岐阜県美濃加茂市

平成30年1月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成30年1月 日

計画の名称		1 加茂川流域における浸水被害の軽減に向けた安全・安心なまちづくり										重点配分対象の該当													
計画の期間		平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）				交付対象		美濃加茂市																	
計画の目標																									
美濃加茂市の中央部を縦断する加茂川流域では近年、平成12年9月の東海豪雨を始め、平成22年、23年と連続して豪雨による内水氾濫が発生しております。この内水氾濫による浸水被害軽減に向けてハードとソフトと一体となった対策を講ずる必要があることから、安全・安心な住環境を提供し災害に強いまちづくりを目指します。																									
計画の成果目標（定量的指標）																									
・加茂川流域における床上浸水戸数を9戸（H23.9豪雨）から0戸（H30）に減少 ・市内の自主防災組織の組織率を65％（H25）から90％（H30）に増加 ・自治会単位の防災訓練の実施率を65％から90％（H30）に増加																									
定量的指標の定義及び算定式												定量的指標の現況値及び目標値				備考									
				当初現況値		中間目標値		最終目標値		備考															
				(H26当初)		(H28末)		(H30末)																	
				床上浸水戸数				9戸				0戸		※現況値はH25時点による											
				自主防災組織の組織率				65%				90%		※現況値はH25時点による											
防災訓練の実施率				65%				90%		※現況値はH25時点による															
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		733百万円		A		733百万円（うち提案事業分31百万円）		B				C				D				効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)		4.2%	
交付対象事業																									
A 基幹事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考								
A-1	都市再生	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	加茂川内水対策計画地区	959ha	美濃加茂市	H26	H27	H28	H29	H30	733											
合計														733											
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考								
									H26	H27	H28	H29	H30												
合計																									
C 効果促進事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考										
									H26	H27	H28	H29	H30												
合計																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考										
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考										
									H26	H27	H28	H29	H30												
合計																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考										

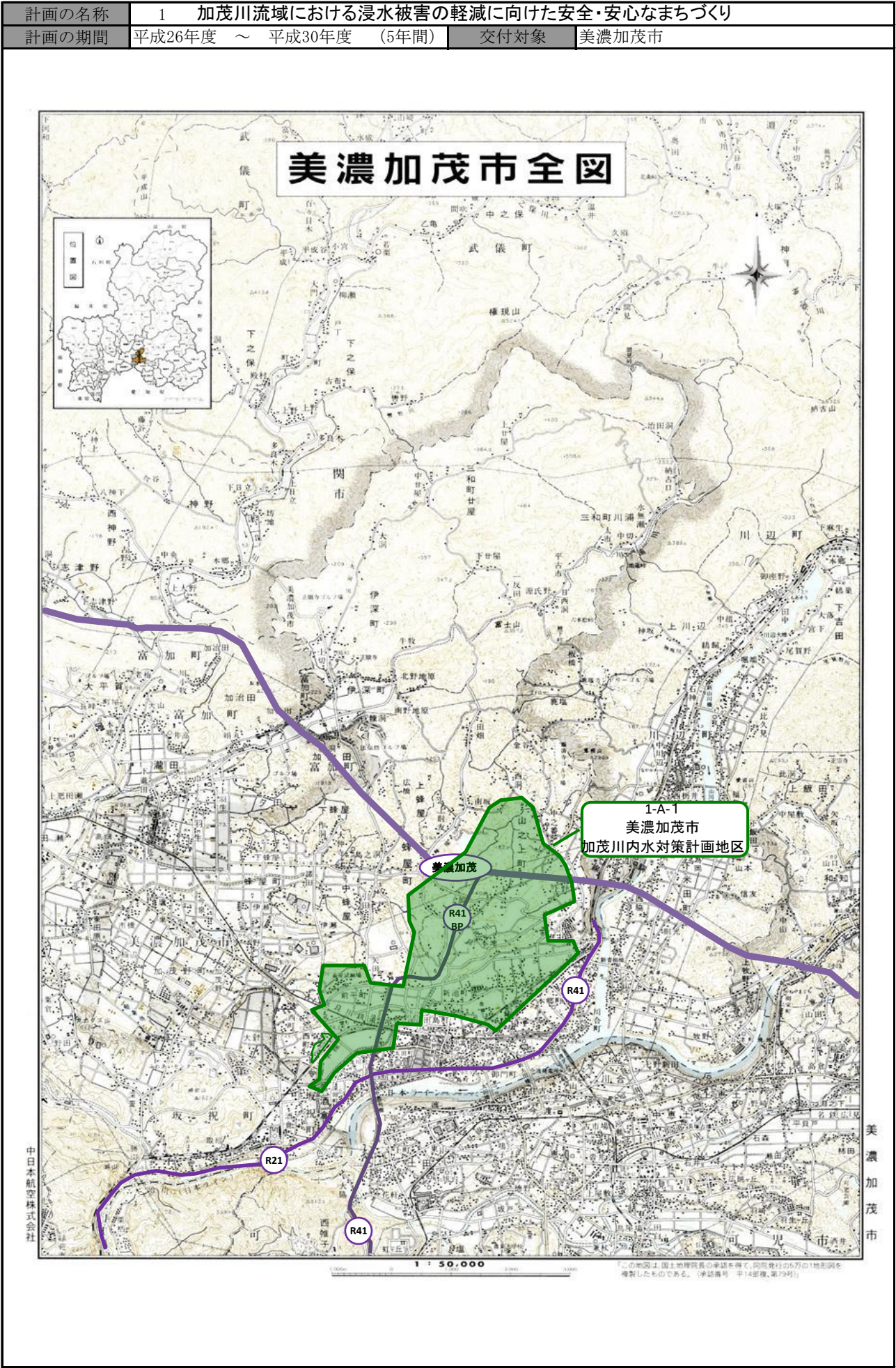
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
配分額 (a)	30	24	47	30	162	0
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	▲ 6	0
交付額 (c=a+b)	30	24	47	30	156	0
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	11	0	15
支払済額 (e)	30	24	36	41	141	15
翌年度繰越額 (f)	0	0	11	0	15	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	-	-

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面) 市街地整備



都市再生整備計画(第2回変更)

か も が わ な い す い た い さ く け い か く
加茂川内水対策計画地区

ぎ ふ み の か も
岐阜県 美濃加茂市

平成30年1月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	美濃加茂市	地区名	加茂川内水対策計画地区	面積	959 ha
計画期間	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度			交付期間	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度		

目標

加茂川流域における浸水被害の軽減に向けた安全・安心なまちづくり

- 国、県、市、地域住民で策定した「加茂川総合内水対策計画」に沿って、災害に強いまちづくりを目指す。
○誰もが地域で安全に安心して生活ができるための環境整備をおこなう。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

(当地区の位置付・役割)

・加茂川流域では、国が流域内の内水を排水するための加茂川排水機場の設置、岐阜県が加茂川の改修を行うなどで流域の治水安全度を向上させているものの、昭和58年9月には木曽川本川の氾濫により4,000戸以上の家屋が浸水するなど壊滅的な被害が発生した。近年では流域の開発による雨水流出の増大、降雨特性の変化などにより、浸水被害が頻発しており、平成12年9月の東海豪雨をはじめ、平成22年、平成23年と連続して内水氾濫が発生している地区である。

過去の洪水での浸水被害はS45. 6床上21戸床下132戸 S47. 7床上6戸床下5戸 H12. 9床上13戸床下4戸 H22. 7床上1戸 H23. 9床上9戸床下5戸となっており、浸水被害を軽減するために総合的な内水対策が必要な地区となっている。

(本地区の交通及び都市基盤の現況)

・加茂川流域は、木曽川の中流部に位置し、河川流路延長11.4km、流域面積は17.57km²である。

・加茂川上流域は山地が連なり、加茂川に沿って段丘を形成している。下流域は浸水被害の生じやすい低平地が広がり市街化が進行している。

・土地利用状況は昭和50年には流域の27%であった宅地等の開発が平成20年には48%になり流域内の開発が進んでいる。

・市街地における下水道事業は分流式で完成している。

・加茂川は昭和30年代の災害などを契機として河川改修が行われてきた。

・加茂川排水機場はS47年に逆流防止樋門が設置され、昭和55年にポンプ5m³/sを1基設置し、昭和57年、平成12年と1基ずつ計3基設置した。

・市内の市道延長は725.6kmにおよび舗装率は95.9%に達しております。今後、舗装の老朽化に伴う舗装の打ち換えや排水路の整備が必要で災害に強い道路整備が必要となっています。

(住民によるまちづくり)

H22年、H23年の災害を契機に地域住民の防災意識が高まり、地域住民代表と国、県、市、町を交えた加茂川総合内水対策協議会を設置して、浸水被害の軽減をめざすまちづくりを行っている。

課題

・加茂川の流域特性を踏まえ、排水機の増設、河川改修、貯留浸透施設などのハード対策が必要。

・被害の軽減に向けて、水防活動、警戒避難体制の強化や河川情報の提供などのソフト対策を充実させる必要がある。

- ・地域住民の防災意識を高め、地域を中心とした地域防災活動を活発にする必要がある。

- ・地域と避難所を結ぶ道路において脆弱な区間を災害時にも機能発揮できるよう強化する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

加茂川総合内水対策計画において水防活動や警戒避難体制の強化、河川情報の提供などのソフト対策と貯留浸透施設の整備や加茂川排水機場の増強などのハード対策を組み合わせることで、近年で最大の浸水被害をもたらした平成23年9月洪水と同程度の豪雨が発生した場合でも浸水想定区域において床上浸水を概ね解消することとしている。

また、流域住民は防災訓練などに積極的に参加し、避難行動について意識を高めることとしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
床上浸水戸数	戸	床上浸水戸数	床上浸水戸数をゼロにすることで安心して生活できるまちを目指す。	9	H25	0	H30
自主防災組織の組織率	%	自主防災組織率	有事の際に共助しあうことによって地域の安全を確保できるまちづくりをする。	65	H25	90	H30
防災訓練の実施率	%	防災訓練の実施率	住民の防災意識を深めることにより、安全・安心なまちづくりを目指す。	65	H25	90	H30

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
計画区域の整備方針	○浸水被害を軽減して災害に強いまちづくりを行う。 道路では保水性舗装を実施し、小中学校の校庭を雨水の貯留施設として整備するなど雨水の流出抑制対策を図る。	■基幹事業 ・道路：市道光徳田中線道路改良事業 ・河川（流域貯留浸透事業）：流域貯留浸透施設 □提案事業 ・地域創造支援事業：加茂川内水対策水位センサーの設置 ・地域創造支援事業：浸水対策工事費助成 ○関連事業 ・加茂川排水機場ポンプ増強事業 ・加茂川河川改修
	○誰もが地域で安全に安心して生活できるための環境整備をおこなう。 スムーズな避難行動が行えるよう生活道路の整備や警戒避難体制の見直しを行い地域防災力の向上を図る。	■基幹事業 ・道路：市道光徳田中線道路改良事業 ・公園：太田西公園整備事業 ・河川（流域貯留浸透事業）：流域貯留浸透施設 □提案事業 ・地域創造支援事業：浸水対策工事費助成 ○関連事業 ・災害警戒標識設置事業
その他		
・加茂川総合内水対策計画の策定にあたり加茂川総合内水対策協議会（構成員：国土交通省木曽川上流事務所、岐阜県、坂祝町、美濃加茂市および地域住民代表）を立ち上げ平成24年2月から平成25年2月まで5回の会議を行い、検討協議した。		

様式3 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項

交付対象事業費	733	交付限度額	293	国費率	0.4
---------	-----	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業														
事業	事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付対象		費用便益比 B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路		市道光徳田中線道路改良事業	美濃加茂市	直	L=210m	H30	H30	H30	H30	23	23	23		23
道路														
道路														
道路														
公園		太田西公園整備事業	美濃加茂市	直	N=1棟	H30	H30	H30	H30	268	268	268		268
古都保存・緑地保全等事業														
河川		貯留浸透施設	美濃加茂市	直	V=14,550m3	H26	H30	H26	H30	411	411	411		411
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設														
高質空間形成施設														
高次都市施設														
中心拠点誘導施設														
連携生活拠点誘導施設														
生活拠点誘導施設														
高齢者交流拠点誘導施設														
既存建造物活用事業(高次都市施設)														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
バリアフリー環境整備事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										702	702	702	0	702

...A

提案事業(継続地区の場合のみ記載)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
地域創造 支援事業	加茂川内水対策水位センサー設置	加茂川流域	美濃加茂市	直	1箇所	H28	H28	H28	H28	24	24	24	24
	浸水対策工事費助成	加茂川流域	美濃加茂市	直	10戸	H26	H30	H26	H30	5	5	5	5
事業活用調査	事業効果分析事業	—	美濃加茂市	直	—	H30	H30	H30	H30	2	2	2	2
まちづくり活動推進事業													
合計										31	31	31	31

...B

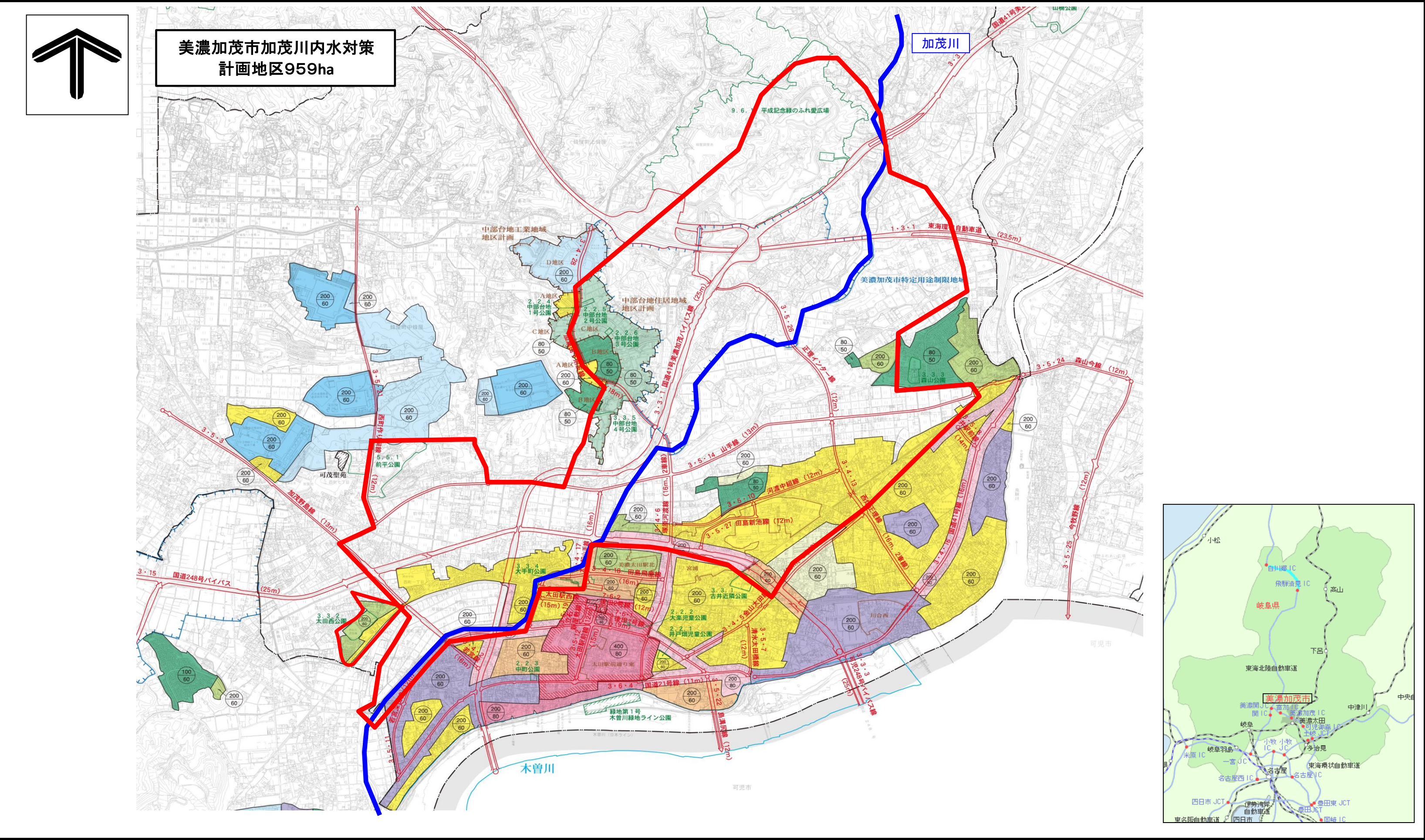
合計(A+B)

733

(参考)関連事業											
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
加茂川排水機場ポンプ増強事業	加茂川排水機場	国交省木曽川上流河川事務所	国土交通省	2基	○				H25	H28	
加茂川河川改修事業	加茂川	岐阜県	岐阜県				○		H26	H30	
災害警戒標識設置事業	加茂川流域	美濃加茂市	美濃加茂市				○		H26	H27	
合計											0

都市再生整備計画の区域

加茂川内水対策計画地区(岐阜県美濃加茂市)	面積	959 ha	区域	加茂川町3丁目、西町1丁目、西町3丁目、田島町2丁目、山之上町、本郷町2丁目
-----------------------	----	--------	----	--



加茂川内水対策計画地区(岐阜県美濃加茂市) 整備方針概要図

目標	加茂川流域における浸水被害の軽減に向けた安全・安心なまちづくり	代表的な指標	床上浸水戸数	(戸)	9	(25年度)	→	0	(30年度)
			自主防災組織率	(%)	65	(25年度)	→	90	(30年度)
			防災訓練実施率	(%)	65	(25年度)	→	90	(30年度)

